

◆ 事務局

建築関係技術者のための「監理技術者講習」(DVD講習)の日程について

回	開催日
⑥	令和7年 3月18日(火)

会場:富山県建築設計会館3階

時間:受付9:00開始 講習+試験9:30~17:25

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

「令和6年度既存住宅状況調査技術者講習」の日程について

令和3(2021)年度に受講された方は今年度が更新年度となります。他団体で資格取得された方も、建築士会の講習で更新が可能です。本年度のDVD講習は終了しましたので、オンライン講習にお申込ください。

【オンライン講習】

区分	回	学習期間(オンライン)	申込締切
更新	2月前期	2月1日(土)00:00~ 2月15日(土)23:59	1/18(土)
	2月後期	2月16日(日)00:00~ 2月28日(金)23:59	2/2(日)
	3月前期	3月1日(土)00:00~ 3月15日(土)23:59	2/15(土)
新規	2月	2月1日(土)00:00~ 2月15日(土)23:59	1/18(土)

受講料:更新17,000円 新規21,450円

申込先:日本建築士会連合会

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

「令和6年度建築士定期講習」の日程について

令和3(2021)年度に受講された方は今年度が受講年度です。今年度から申込方法が変わりました。①建築技術教育普及センターのホームページからインターネットで直接お申込み②紙の申請書(建築技術教育普及センターのホームページからダウンロード)を富山県建築士会へ郵送のいずれかの方法でお申し込みください。3年前に普及センターの建築士定期講習を受講された方には、年度初めに普及センターから案内が届いていますのでご確認ください。

会場 コート	日程	会場	講義	定員
3B-06	令和7年 3月14日(金)	富山県民会館611	DVD	60

時間:9:20~17:30

受講料:12,980円(消費税・テキスト含む)

申込先:建築士会事務局 平日9:00~17:00

問合先:建築士会事務局 担当:佐藤

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

◆ 研修委員会

専攻建築士新規登録及び更新申請について

専攻建築士制度は、消費者保護の視点に立ち、高度化しかつ多様化する社会ニーズに応えるため、専門分化した建築士の専攻領域及び専門分野を表示することで、建築士の責任の明確化を図る目的の自主的な制度です。8つの専攻領域があり、得意分野を専攻領域として明示することができます。消費者の方は本会HPから専攻建築士を検索することができます。

受付期間:令和7年1月4日(土)~2月28日(金)

(窓口での受付は上記期間中の平日となります)

申請条件:新規登録の方 CPD単位12単位以上(直近1年間)

登録更新の方 CPD単位60単位以上(過去5年間)

※専攻建築士の有効期限は5年間です。

(今年度更新対象の方には別途ご案内差し上げます。)

申請方法:新規申請は書類申請のみ。申請書類は日本建築士会連合会HPからダウンロードできます。更新申請は書類申請・WEB申請どちらも可。なお、専攻建築士の登録期限が切れている方も更新が可能です。

申請手数料:17,600円(新規)

13,200円(窓口での更新)9,900円(WEBでの更新)

◆ 富山支部

住宅講座「建築家 中村好文氏講演会」開催のご案内

日時:令和7年3月8日(土)13:30~(開場13:10)

会場:富山国際会議場2F 多目的会議室

講師:中村好文氏(レミングハウス 代表)

演題:~今想うこと 今までとこれから~

定員:先着順144名(どなたでも参加できます。)

建築CPD:2単位

参加費:建築士会会員・学生500円 一般1,000円

当日建築士会入会者は会員価格となります。

申込先:E-mail、Fax または右のQRコードをスキャンの上お申し込みください。

E-mail iino@enkel-h.jp FAX 076-461-5328

申込期限:令和7年2月28日(金)

※定員に達し次第締め切ります。

講師を囲んでの交流会:先着順25名 会費¥8,000

17:30~ 会場「酒と人情料理 だい人」

住所 富山市新富町2丁目5-1 はまのやビル1F

問合先:富山支部 担当:飯野(TEL:090-7080-8040)



高岡支部 建築ツアー 高岡ふしき再発見 伏木まるごと町歩き報告

令和6年11月23日に伏木地区にて町歩きを行いました。同年1月1日、能登半島地震が発生し液状化など大きな被害を受けた伏木地区。地震直後は生活や仕事で不便を余儀なくされていたと思います。その後、まちの復旧が進み営業を再開した店舗や観光客が戻ってくるなど、日常を取り戻してきました。伏木といえば、曳山祭「けんか山」や港湾といった華やかな印象がありますが、二上山を背にした高台の住宅地はゆったりとした暮らしがなされています。海側が目立されがちですが、山側にも、観光名所の勝興寺、大伴家持の万葉歌碑、北前船旧廻船問屋など、繁栄当時の面影が見られ、隠れた魅力に溢れていると思います。そんな伏木地区を建築士(志)の視点で散策することで、新たな魅力を再発見できるのではないかと企画しました。職業柄、日頃デスクワークが多く、運動不足の皆さんが、徒歩で町を巡ることで健康に繋がるという思いもありました。

町歩き当日、少し小雨の降る中でしたが8名(会員:7名 会員外:1名)の参加がありました。伏木駅前に集合、地元の路地を巡り、氣多神社でガイドさんと合流、その後、高志のみはらしで伏木のまちを一望、万葉歴史館では企画展の池田弥三郎展と常設展示を見学、勝興寺では見学と昼食、午後から伏木気象資料館、北前船資料館を見学しました。



氣多神社の参道脇の「高志のみはらし」から伏木のまちを一望



伏木のまちなみ

登りは険しく、下りは易く

登山では、登りは険しい道、下りは易い道を選ぶのがよいそうです。伏木駅前から氣多神社へ向かうのですが、最後に急坂が待ち受けていました。当日は気温が低下していましたが、氣多神社に着くころには身体は暖かくなっていました。その後、下りながら各施設を見学、勝興寺に着いた頃にはお腹も空いて、出来立てのお弁当がさらに美味しく感じました。

参加人数

8名



氣多神社 本殿

当日は、新嘗祭が行われた後だったこともあり地元の方たちで賑わっていました。



万葉歴史館

企画展の池田弥三郎展と常設展示について学芸員の方に解説頂きました。



北前船資料館 望楼からの眺め

当時、船の寄港や帰還をこの場所で、海の方を眺め待っていた。

建築ツアーを振り返って

伏木駅前ロータリーや公衆便所の復旧工事が終わるなど、日常を取り戻しつつあるが、歩道や道路には、液状化による陥没やアスファルトのひび割れなど爪痕が残っていた。高台に移動していくと、奈良時代から府が築かれて安定した土地であるのか被害は少ないようにみえた。町歩きを通して、伏木には隠れた魅力があることを伺い知れた。まち全体の復旧は道半ばではあるが、まちづくりが進み、魅力ある伏木を取り戻せることを願う。報告 | 高岡支部・|松尾 晶子|